

議題 3

令和5年度天理市地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について

地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱第3条第5項及び実務要領に基づき当協議会が実施する地域公共交通確保維持事業について、効果的かつ効率的に事業を促進するため、補助金交付要綱の規定に基づき、協議会自らによる当該年度補助対象事業の実施状況の確認及び目標達成状況等の評価を行い、当該自己評価の結果を提出するもの。

天理市地域公共交通活性化協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

天理市地域公共交通網形成計画の概要は以下のとおり。

事業進捗や実施結果などについては、毎年、いわゆる「PDCA サイクル」の考え方に基づく評価を実施することで、社会情勢等、外生的な要因の変化などにも対応し、必要があれば事業内容の見直し・改善を行い、目標の達成を目指す。

○計画の対象区域

天理市全域とする。

○計画の対象期間

2019年4月～2024年3月（5年間）

○計画の基本理念

「支えあうマチ天理」を実現する、広域的基幹交通と地域内交通とが連携した利便性の高い公共交通網の形成

○計画の基本方針

- （1）市民の暮らしを支える、鉄道駅を中心とした公共交通ネットワークの形成
- （2）交通不便地域や高齢者等の移動手段の確保
- （3）観光客にとって利用しやすい公共交通の充実
- （4）幅広い連携による移動手段の維持・確保と利用促進施策の展開

○計画の目標

- ・公共交通の利便性に対する不満度合いの軽減
- ・地域内公共交通の利用者数の維持
- ・地域内公共交通の収支率の改善
- ・公共交通に対する市の負担額の抑制
- ・高齢者の運転免許証返納の促進
- ・来訪者の公共交通利用の促進
- ・関係主体による積極的な利用促進活動の推進

公共交通ネットワークのイメージ図

※別紙1参照

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

- ・各交通モードに対する満足度
- ・地域内公共交通（コミュニティバス「いちよう号」及びデマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」）の利用者数
- ・コミュニティバス「いちよう号」及びデマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」の収支率
- ・路線バス及び地域内公共交通に対する市の負担額

- ・コミュニティバス「いちよう号」東部線及びデマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」高原・東部地区の利用者数
- ・運転免許証返納者数
- ・主要観光地における公共交通を利用した来訪者の割合
- ・市民を対象とした利用促進活動の実施回数

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

○協議会の開催状況

令和5年1月23日（書面開催）

- ・令和4年度天理市地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(案)について
- ・なら歴史芸術文化村における交通アクセス（バス等の運行）について

令和5年3月24日

- ・令和5年度天理市地域公共交通活性化協議会予算（案）について
- ・天理市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について
- ・コミュニティバスにおける「CI-CA plus」利用開始について
- ・天理市地域公共交通計画について

令和5年6月28日

- ・令和4年度 決算及び監査について
- ・令和6年度 生活交通ネットワーク計画(案)について
- ・AI デマンド交通の導入検討について
- ・天理市地域公共交通活性化協議会規約の改正等について
- ・天理市地域公共交通計画の策定について

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
コミュニティバス運行事業	奈良交通(株)	R4/10～ R5/9	フ	天理駅出発の西部線2系統及び東部線の合計3系統の運行を実施
デマンドタクシー運行事業	奈良近鉄タクシー(株)	R4/10～ R5/9	フ	天理駅を起点として中心エリアと高原・東・西・南・北エリアを往復するデマンド型乗合タクシー5系統を運行

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
令和5年度奈良県公共交通基本計画推進事業	天理市地域公共交通活性化協議会	R5/4	平成31年3月に策定した「天理市地域公共交通網形成計画」の計画期間が令和5年度末で終了するため、令和4年度、令和5年度の2ヶ年で、令和2年度に行われた地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正内容を踏まえ、現計画を引き継ぐ「天理市地域公共交通計画」の策定業務。
天理市タクシー事業者エネルギー価格高騰対策支援金交付事業	天理市	R5/6	新型コロナウイルス感染症及び燃料価格高騰による影響を受けながらも、市民生活や経済活動を支える重要な社会インフラとして運行を継続しているタクシー事業者の事業継続を支援するため、当該事業者に対し、予算の範囲内において天理市タクシー事業者エネルギー価格高騰対策支援金を交付した。
天理市路線バス事業者エネルギー価格高騰対策支援金交付事業	天理市	R5/7	新型コロナウイルス感染症及び燃料価格高騰による影響を受けながらも、市民生活や経済活動を支える重要な社会インフラとして運行

			を継続している路線バス事業者の事業継続を支援するため、当該事業者に対し、予算の範囲内において天理市路線バス事業者エネルギー価格高騰対策支援金を交付した。
--	--	--	--

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
路線バス補助（天理桜井線）	奈良交通（株）	R4/10～ R5/9	バス路線（幹線）の継続運行のための補助
路線バス補助（天理都祁線）	奈良交通（株）	R4/10～ R5/9	バス路線（幹線）の継続運行のための補助

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
特になし	特になし	特になし

4. 具体的取組に対する評価

◆地域公共交通確保維持改善事業を活用し運行を確保したコミュニティバス「いちよう号」西部線・東部線及びデマンドタクシーについては、適切な運行が確保された。

■コミュニティバス

【目標利用者数】24,000人 【実績】24,254人

目標を達成することができた。

■デマンド型乗合タクシー

【目標利用者数】4,820人 【実績】5,289人

目標を達成することができた。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
<p>今後、さらなる高齢化社会を迎えるにあたって、買い物・交通不便者及び非免許保有者等への対応。</p>	<p>より生活に密着した公共交通を目指し、あらゆる年代が快適に生活できるような交通網形成を計画する。</p>
<p>公共交通の更なる利用促進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や利用者に対して、公共交通の利便性を理解してもらえるよう、啓発活動を強化するとともに、コミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーの更なる周知を図る。 ・コミュニティバス及び乗合型デマンドタクシーにおける新型コロナウイルス感染予防対策について、安心して利用していただく環境づくりに取り組むとともにその周知を図る。

天理市地域公共交通活性化協議会（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
<p>【コミュニティバス】</p> <p>事業実施の適切性、目標・効果の達成状況については評価できる。</p> <p>引き続き啓発活動等に取り組み地域内公共交通の利用者数の維持に務められたい。</p>	<p>民間の広告制作事業者と連携し、「コミュニティバス」の時刻表（「デマンドタクシー」の情報も掲載）を作成し、広報紙折込により世帯に配布することにより、公共交通の利用促進を図った。</p>	<p>引き続き市民及び利用者のニーズ調査などを行うことにより、利用者数の増加に努める。</p>
<p>【デマンドタクシー】</p> <p>目標・効果について達成できなかったところはあるものの、事業実施の適切性については評価できる。</p> <p>引き続き啓発活動等に取り組み地域内公共交通の利用者数の維持に務められたい。</p>	<p>民間の広告制作事業者と連携し、「コミュニティバス」の時刻表（「デマンドタクシー」の情報も掲載）を作成し、広報紙折込により世帯に配布することにより、公共交通の利用促進を図った。</p>	<p>引き続き市民及び利用者のニーズ調査などを行うことにより、利用者数の増加に努める。</p>

2. アピールポイント、特に工夫した点など

本市は、地形的に平野部と東部山間地域が存在し、鉄道については南北にJRが走り、東西は近畿日本鉄道が通っているが、近畿日本鉄道は天理駅が終着駅であり、山間部へのアクセスは奈良交通（株）の路線バスがあるのみである。

その状況下で、まず平野部においてコミュニティバスの運行を開始し、その空白地をデマンド型タクシーで埋め、さらに、交通不便地域であった山間部においてもコミュニティバスを運行することにより、公共交通空白地帯は市域の4%まで縮小した。

平成30年度に策定した天理市地域公共交通網形成計画に基づき、特に高齢化の進展が顕著な中山間地域における移動手段の維持・確保、利便性の向上、運行の効率化を図るため、運行ルートが重複する路線バスとコミュニティバスの再編し、令和2年9月末で路線バスを休止するとともに天理市コミュニティバス「いちよう号」昔原線の運行ルートを一部変更・延伸し、令和2年10月より、新たに天理市コミュニティバス「いちよう号」東部線として運行した。

デマンドタクシーについても、特に高齢化の進展が著しい東部中山間地域における暮

らしに必要不可欠な移動手段を確保し、将来にわたって持続可能な運行サービスを維持するため、バス路線の再編とあわせて東エリアを再編し、新たに高原エリアを追加した。さらに、全系統で増便を行った。

また、令和5年度には新たな公共交通サービスの導入を検討し、12月に社会実験をおこなった。今後も引き続き、「支えあうマチ天理」を実現する、広域的基幹交通と地域内交通とが連携した利便性の高い公共交通網の形成を目指し、天理市地域公共交通網形成計画に位置付けられた施策を中心に関係機関と連携し取組を推進する。

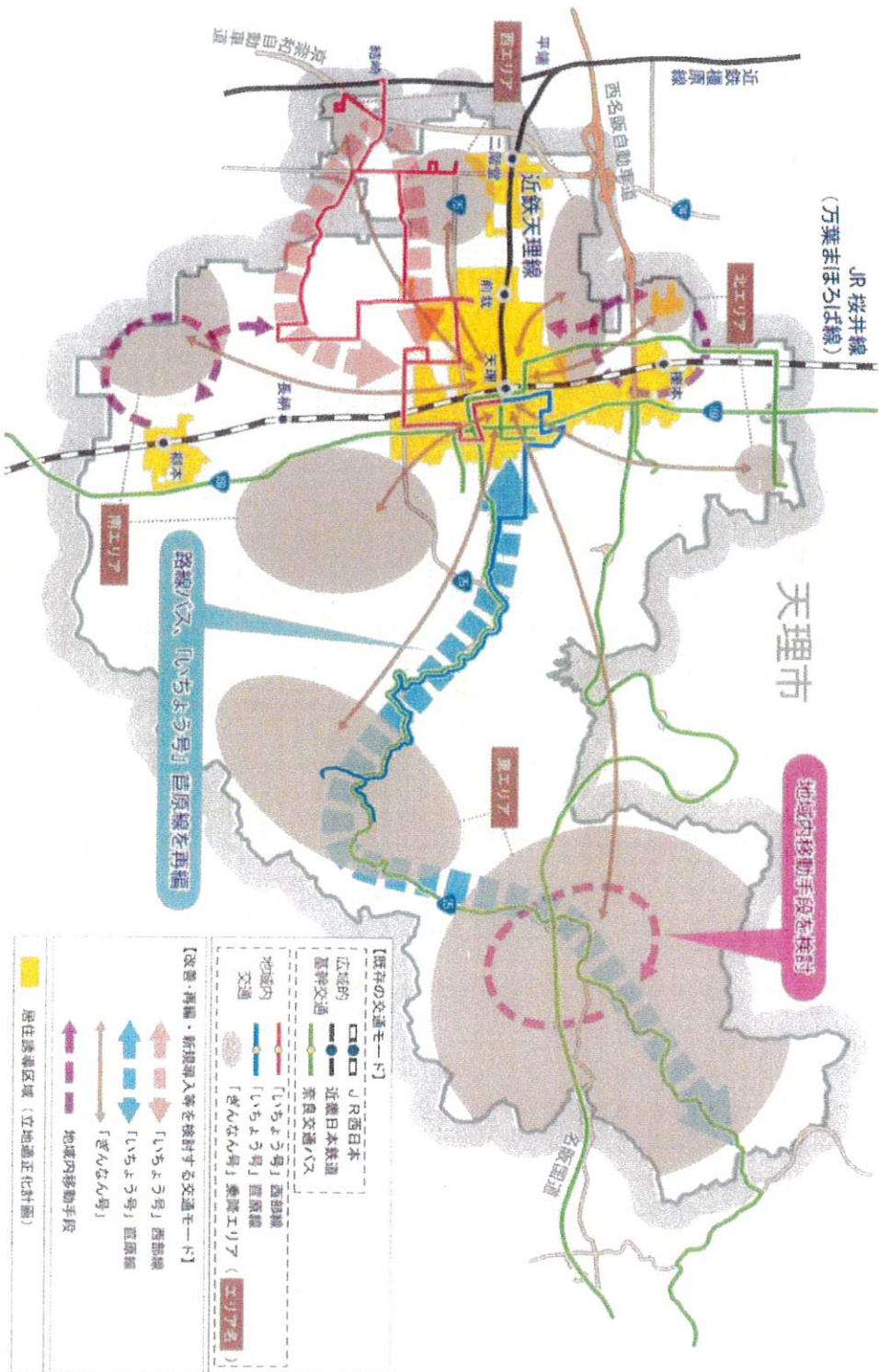


図. 地域公共交通網形成の方向性 (イメージ)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名:天理市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フューダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
奈良交通㈱ 3系統	天理駅発着のコミュニティバス 3系統の運行	運行ルートが重複する路線バ ス天理郡耶麻線(旧道系統)と天 理市コミュニティバス「いちよ う」直原線を一体的に再編し、 令和2年10月より天理市コミュ ニティバス「いちよう」東郡線 として運行を開始した。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	A 令和5年度ネットワーク計画 (R4.10.1～R5.9.30)の目 標利用者数24,000人に対 し、24,254人の利用があり、 目標は達成できた。	【共通】 令和6年度に策定する「天理 市地域公共交通計画」に基づ き、地域公共交通とコンパクト なまちづくりが連携する「コンパ クトシティ・グラス・ネットワーク」 の考え方のもと、まちづくり施 策と一体的な公共交通網再編 を念頭に公共交通の利便性の 向上などを進めていく。 また、住民や利用者に対して、 公共交通の利便性を理解して もらえるよう啓発活動を強化す る。
奈良近鉄タクシー㈱ 5系統	天理駅を起点とする中心エリア と、高原・東・西・南・北エリアを 往復するデマンド型集合タク シー5系統の運行	東エリアにおける運行区域が 広範囲であることから、同一の 便で集合での利用となった場 合に、目的の地までの所要時間 が非常に長くなるなどの課題を 解消するため再編を行い、新た に高原エリアを追加した。全系統 で運行を開始した。全系統で 運行時刻の変更及び増便をし た。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	A 令和5年度ネットワーク計画 (R4.10.1～R5.9.30)の目 標利用者数4,820人に対し、 5,289人の利用があり、目標 は達成できた。	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月31日

協議会名：	天理市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フイーター系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	本市の地域公共交通においては、市域を跨ぐ広域的基幹交通(鉄道・路線バス)と市内の移動を担う地域内交通(コミュニティバス、デマンドタクシー、民間運営の交通等)とが、鉄道駅を中心に連携して地域を結ぶネットワークを形成し、通勤、通学、通院、買物などの生活面での移動を支えることができる利便性の高い地域公共交通網を形成することを目的とする。